

令和5年度

2023 Education in Uruma City

うるま市の教育

(主要施策)



『鎮魂の菩薩像』(水墨画) 棟方志功

うるま市教育委員会

Uruma City Board of Education



うるま市民憲章

うるま市は、豊かな自然と先人たちの築きあげた文化と伝統を大切にす、希望にみちた健康都市です。私たちは、このまちを愛し、おたがいの幸せを願、ここに憲章を定めます。

- 一 すこやかで、心のかよう家庭と、思いやりのあるまちをつくりま。
- 一 自然を生かし、花とみどりに包まれた、きれいなまちをつくりま。
- 一 きまりを守り、ものを大切にす、住みよいまちをつくりま。
- 一 働くよろこびと、若い力の育つ、元気なまちをつくりま。
- 一 教養を高め、文化のかおり高い、魅力あるまちをつくりま。

平成十九年三月六日 制定

うるまの意味

珊瑚の島という意味で沖縄の美称である。また、景観の見事な沖縄の島々を示す言葉で、この4市町の海に面した素晴らしい景観を表し、新市が未来へ飛躍することと、美しい沖縄(4市町)の心を世界に発信することを願う。

市章の意味

うるま市の「う」の文字を図案化したもので、赤は太陽、緑は大地、青は海をイメージしている。豊かな自然の輪の中で市民の融和と平和を表現し、金武湾と中城湾に面して発展する「うるま市」の明るい未来と更なる飛躍を象徴する。

【表紙写真説明】

鎮魂の菩薩像（水墨画） むなかたしこう 棟方志功(1903-1975) 1959(昭和 34)年作品

棟方志功は、1903年に青森県で生まれた日本を代表する版画家。本作品は、1959(昭 34)年6月30日に旧石川市で起きた宮森小学校ジェット機墜落事故を知った僧侶 佐藤日健が犠牲になった児童達のために棟方に描いてもらい、遺族会に贈った菩薩像（水墨画）である。

はじめに



うるま市教育委員会
教育長 嘉手苺 弘美

私たちの日常生活を新型コロナウイルスが一変させて3年。まだまだ予断を許さない状況ではありますが、学校には子ども達の元気な歌声、給食時間の賑わいがもどり、休日には家族で外出を楽しむなど、人々の日常が次第に戻ってきました。

コロナ禍においても子ども達の学びを止めないため、学校現場ではタブレットを活用したAIドリルやオンラインによる学習活動が進み、対応する教師のICT教育の技術力も向上しました。今後は各種制限下において取り組んだ教育の創意工夫をさらに進化させ、学力向上、不登校児童生徒への対応等も含め、うるま市の目指す子ども像を達成する教育実践に取り組む事が求められています。

しかし、子ども達を取り囲む社会的課題は、この数年でさらに複雑化・多様化しており、家庭や教育現場だけでなく、地域の力も含め、うるま市全体で対応していかなければなりません。市民協働のまちづくりを目指すためにも、生涯学習活動の場を提供することで人材育成を行い、学んだ成果を地域において活かすことで地域コミュニティの強化と地域教育力の向上に結び付けばと考えています。また、地域それぞれの特色ある支援をすることで、子ども達の心に自らの生まれ育った郷土への思いを育み、本市の教育目標である「郷土に誇りをもち未来を拓く人づくり」の実現を目指してまいります。

結びに、この「うるま市の教育」は、本市の教育委員会の組織と、活動概要をまとめたものであり、各分野の取り組みが把握できるよう編成しております。

教育関係者をはじめ、多くの方々に本市の教育行政についてご理解を深めて頂くとともに、本市教育へのご助言と、なお一層のご協力を賜れば幸いに存じます。

令和5年8月

教育施策体系

基本目標 2

子どもがいまいきと
育つまちづくり

2-3 幼児教育・保育の充実

乳幼児を家庭の保護者に代わって保育し、安心して就労や子育てを行うことができる環境を整えるとともに、健全な人間形成の基礎を培う幼児教育・保育を実現し、子どもたちに健康・安全で文化的な生活、豊かな遊びが保障されることで、心身の調和のとれた発達を目指します。

- 2-3-1 多様な幼児教育・保育を充実させます
- 2-3-2 保育所等・小学校を連携します

基本目標 5

郷土に誇りをもち
未来を拓く人づくり

5-1 生きる力を育む学校教育の充実

豊かな心とたくましい体、望ましい生活習慣や食習慣等を育み、予測困難な社会の変化に柔軟に対応できる幅広い知識と柔軟な思考力を身に付け、すべての人の個性を認め合い、協働して新たな価値を見出していこうとする姿勢を身に付けた国際性に富む子どもを育成します。

- 5-1-1 学力向上を図ります
- 5-1-2 きめ細やかな指導・支援・相談体制の充実を図ります
- 5-1-3 児童生徒の心と体づくりに取り組みます
- 5-1-4 教育環境を整備・充実させます
- 5-1-5 地域と共にある信頼される学校づくりを推進します
- 5-1-6 組織的・機動的な学校づくりを推進します

5-2 学校教育施設の充実

児童生徒が安全・安心で良好な環境の中で学ぶことができるよう、学校における施設・設備の適切な維持管理や計画的な改修・改築を行います。

- 5-2-1 学校教育施設を整備・充実させます

5-3 青少年健全育成の推進

学校・家庭・地域社会が連携して、青少年の健全育成に地域ぐるみで関わり、子どもたちが地域の中で心豊かで健やかに成長できるまちを目指します。

- 5-3-1 青少年健全育成支援体制を整備します
- 5-3-2 青少年の健全育成・自立を支援します

5-4 生涯学習の充実

市民それぞれのライフステージやライフスタイルに応じ、生涯にわたって生きがいを持てるように、生涯学習活動機会を提供し、生涯学習・社会教育環境の充実を目指します。

- 5-4-1 生涯学習の環境を整えます
- 5-4-2 図書館の活用を推進します
- 5-4-3 学んだ成果を地域社会に活かします

5-5 スポーツ・ライフの推進

市民がスポーツに親しみ、健康の維持・増進と競技力向上に取り組むとともに、スポーツ関係団体の運営支援や組織力強化支援に取り組み、良好なスポーツ環境を提供し、スポーツによる地域活性化を目指します。また、市民一人ひとりが自主的、主体的にスポーツ・運動に親しむことができるまちを目指します。

- 5-5-1 様々な主体と連携しスポーツが生活にとけ込むまちづくりを目指します
- 5-5-2 スポーツ環境を整備・充実させます
- 5-5-3 スポーツに気軽に参加できる機会を確保します
- 5-5-4 競技スポーツの強化・向上を推進します

5-6 文化・芸術の振興

市民が優れた文化・芸術に親しみ、触れる機会を充実させることにより、教養や感性を深め、多様な価値観が尊重されることにより心豊かな社会形成を目指します。また、長い年月をかけて今に受け継がれてきた伝統芸能の保存・継承及び地域文化の振興を図ります。

- 5-6-1 市民文化活動を推進し文化芸術に親しむ機会を提供します
- 5-6-2 文化施設・設備を有効利用します

5-7 文化財の保存・活用の推進

文化財を次世代へ継承するため、企画展示・体験学習・各種イベントなどの機会を通して市民の文化財に対する意識や関心を高め、文化財の保存・活用を推進し、郷土に愛着と誇りの持てるまちづくりを目指します。

- 5-7-1 文化財を保護します
- 5-7-2 文化財を活用していきます

令和5年度

うるま市の教育

主要施策

うるま市教育委員会

目次

第1章 うるま市の概要		資料編1 うるま市教育委員会事務点検・評価	
1 位置及び人口	1	1 令和4年度事務点検・評価	145
2 沿革	2		
第2章 教育行財政		資料編2 各種委員等	
第1節 教育行政	3	1 うるま市自治会長連絡協議会役員名簿	147
第2節 教育財政	19	2 うるま市自治会名簿	148
第3節 育英事業	21	3 社会教育委員	150
		4 うるま市教育支援センター運営委員	150
		5 文化財保護審議会	151
第3章 乳幼児期の教育・保育		6 資料館協議会	151
第1節 乳幼児期の教育・保育が目指すもの	24	7 うるま市具志川市史編さん委員会第9巻専門委員	151
第2節 乳幼児期の教育・保育の現状と課題	26	8 うるま市立学校給食センター運営委員会	152
第3節 乳幼児期の教育・保育の具体的な取り組み	27	9 うるま市教育支援委員	153
		10 学校医・歯科医・薬剤師一覧	154
第4章 学校教育		資料編3 施設使用料	
第1節 学校教育	29	1 学校施設使用料	155
第2節 うるま市教育支援センター	73	2 うるま市立公民館使用料	155
第3節 学校給食	84	3 生涯学習文化振興センターゆらてく施設使用料	156
		4 うるま市民芸術劇場施設使用料	157
第5章 学校教育施設		5 うるま市石川会館施設使用料	159
第1節 学校教育施設	92	6 うるま市きむたかホール施設使用料	161
		資料編4 学校・教育機関	
第6章 生涯学習		1 市教育委員会事務局・教育機関・その他の公の施設 電話番号等一覧	163
第1節 生涯学習振興	98	2 うるま市立小学校・中学校一覧	164
第2節 生涯学習文化振興センター	104	3 令和5年度うるま市立学校在籍一覧表(小学校・中学校)	165
第3節 図書館	117	4 令和5年度うるま市教育委員会・関係団体等行事予定表	166
第7章 文化・芸術			
第1節 市民文化活動の推進	124		
第2節 文化施設・設備の有効利用	125		
第8章 文化財			
第1節 文化財の保存と活用	130		
第2節 保存・活用の方針	134		
第3節 資料館	136		
第4節 市史編さん	141		

うるま市の概要

教育行財政

乳幼児期の教育・保育

学校教育

学校教育施設

生涯学習

文化・芸術

文化財

資料編

うるま市歌

～青雲澄みて～

作詞 知念仁照
補作詞 うるま市市歌検討委員会
作曲 普久原恒勇

♩=100

The musical score is written in a 3/4 time signature with a key signature of two flats (B-flat and E-flat). It consists of eight staves of music. Chord symbols are placed above the notes. The lyrics are written below the notes. The score includes section markers B, C, D, and E.

B B7 Eb Gm Cm B7
あは さき ひ が の ほ る き し ん わ ん に つ に
れは きな しれ がぶし のんし ほかま るの ちゆ のら わびし んつま

B7 F7 Bb7 Eb B7 Eb
せい い き の ない み は う ち よ 一 せ て
あ ちゅが きの を とぶも きす とわ ちも が に ま 一 せ さ て
あみ や は し の て さ ら す も こ が ね り い ろ ん きう む
と ほ そ し お て さ ら す も こ が ね り い ろ ん きう む
はま かし の みまか ちちね るのは こじた のちか さのな 一 とみ もち
あ あ 一 一 ああ 一 一 うう るる まま しし にに
みはみ どなが 一 一 りがは 一 一 もきえ 一 一 えくる

C B7 Eb Eb7 Ab6 Eb Ab
あみと やほも はそに しのお てさこ らとさ すもん こほゆ がこめ ねりを いなも ろんち きう入 むまい

Gm Fm Gm Fm Bb7 Eb
たれわ かし の みまか ちちね るのは こじた のちか さのな 一 とみ もち
あ あ 一 一 ああ 一 一 うう るる まま しし にに

D Cm G7 Fm7 Bb
せとこ いもこ うにろ んてと すきこ みとこ てりろ ひすか かすよ りみい さゆあ すくう
あ あ 一 一 ああ 一 一 うう るる まま しし にに

E Eb Fm7 Bb7 Eb
みはみ どなが 一 一 りがは 一 一 もきえ 一 一 えくる

うるま市歌 ～青雲澄みて～

一 朝日が昇る 金武湾に

世紀の波は うち寄せて
あやはし照す しがね色
肝高満ちる この里も

青雲澄みて 光さす
ああうるま市に みどり萌え

二 歴史文化を 偲びつつ
いちゆいの息吹 共に冴え

みほその里も 誇りなん
生まれし街の 自治の道
共に手をとり 進みゆく

ああうるま市に 花が咲く

三 離れし島の 美ら島に

明りをとす わが街も
共に興さん 理想をもち

平和の鐘は 高鳴りぬ
心と心 通い合う

ああうるま市に 実が栄える